

2026年4月1日 苦小牧民報より

# 苦小牧市が機構改革

## 健康福祉部、こども未来部に再編

### 「医療介護連携課」も新設



苦小牧市は1日、機構改革を行い、これまでの福祉部を健康福祉部に、健康こども部をこども未来部にそれぞれ再編した。健康福祉部は福祉業務に市民の健康支援業務を加え、保健・福祉・介護を一体的に担う。こども未来部は妊娠期から若者世代までを対象に、子ども施策に特化した体制とする。

#### □健康福祉部

健康福祉部は主に生活保護、困窮者支援、障害福祉を担当し、新たに保健医療介護推進室を設置する。

同室に健康づくり課と介護福祉課を置くほか、地域資源を生かした医療体制の充実と持続に取り組む「医療介護連携課」も新設する。

組織変更したこども未来部の窓口

市内の高齢化率のさらなる上昇を見込み、必要とする医療や介護、福祉を住み慣れた地域で受けられる地域体制の構築が狙い。職員は4人体制で、あらゆる関係機関がスムーズに連携を進められるよう施策を立案する。

木沢直子部長は「高齢化率がピークを迎える2040年が近づき、医療と福祉が連携したまちづくりが急

がれる。新たな部署で取り組みを加速させたい」と意気込む。

#### □こども未来部

こども未来部は母子保健や幼稚園・保育施設の整備、子育て支援、発達支援をはじめ、児童虐待やヤングケアラー、悩みを抱える子どもや成人を含む若年への相談対応などを担う。発達支援の部署はこれまで福祉部障がい福祉課にあったが、子どもに関する施策を1カ所に集約するため、こども未来部に移した。こども育成課は政策課と幼保施設課に分け、業務の効率化を図る。

さらに、これまでの青少年課をこども若者支援課に名称変更。26年度中の完成を目指す「こども計画」の下、0歳から貧困やひきこもりなどの困難を抱える39歳までの世代が、自身の人生を力強く歩めるよう切れ目のない支援を進める。

野見山慎一郎長は「各課の機能強化を図り、こどもどまんなかのまちづくりを推進したい」と話した。

(姉齒百合子)